

【児童へ話】

台風のニュースでにぎわった3連休を終えました。「災害は 忘れたころに やってくる」と言いますが、最近では忘れる間もなくやってくる感じですね。日頃の備えが大切であることは、先日の朝礼でお話ししたとおりです。まずは自分の身を守ること、そして困ったときには人に優しさを分けてあげてくれることを忘れずに生活してください。

さて今日は、2週間後の運動会に向け、スポーツ選手の名言を4つ紹介します。

まずは、サッカーのリオネル・メッシ選手

「努力すれば報われる？ そうじゃない。報われるまで努力するんだ」

次は、バスケットボールのマイケル・ジョーダン選手

「私は失敗を受け入れることができる。でも、挑戦しないことだけは許せない」

次は、水泳のイアン・ソープ選手

「成功とは自分の達成度のことだ。他人を気にする必要はまったくない」

最後に、フィギュアスケートの羽生結弦選手

「できることを出し惜しみしてやってもつまらない。それは一生懸命ではない」

一流のスポーツ選手は、みんな頑張り抜くことの大切さを口にしています。そして、できたできない、勝った負けたではなく、自分がどれだけ頑張ることができたかが重要で、成功かどうかを決めるのは自分自身である、と考えていることがよく分かります。

運動会は、お家の方がたくさん見に来てくれます。皆さんが一生懸命に頑張る姿が、お家の方にとって一番嬉しく、見たいと思っている姿だと思います。これから2週間、自分の目標を決め、一生懸命努力し、運動会当日にはお家の人をたくさん喜ばせてあげてください。

今日は「一生懸命頑張り抜くことの大切さ」について、お話ししました。

【本講話について】

週明け火曜日のオンライン朝会です。急遽、6年生のステキな2人が、朝のあいさつをしてくれました。番町の子は本当に優秀で、快く人のために動くことができる子ばかりで嬉しくなりました。

台風関連のニュースが多い週末で、朝の登校時刻も雨が降ったりやんだりでした。運動会まであと8日となりましたが、思うように練習できない状況もありそうです。今週は、子どもの運動会への意欲を高めるために、トップアスリートの言葉を紹介しました。力のある人の言葉は、子どもの心にも沁み込むものです。意欲を高め、失敗しても諦めず、保護者の皆さまに「健気に」頑張る姿を見せられるよう、指導を続けていきます。